

3 三重県スポーツ推進条例（仮称）制定に向けた取組について

1 現状

(1) これまでの取組

県では、これまで「第7次スポーツ振興計画」に基づき、スポーツ関連施策に取り組んできており、基本理念を「生きがいのある生活と活力ある生涯スポーツ社会の実現」と位置づけております。基本理念の実現に向けた基本施策を「子どもたちの元気づくり」、「地域の活力づくり」、「県民の夢づくり」、「元気の基礎づくり」として、取組を推進してきました。

(2) 国のスポーツ政策をめぐる動き

平成 23 年 8 月、スポーツ振興法が全面的に改正され、新たな「スポーツ基本法」の前文では、「スポーツを通じて幸福で豊かな生活を営むことは、すべての人々の権利であること、スポーツは次代を担う青少年の体力向上や健康で活力に満ちた長寿社会実現に不可欠であること。さらに、人と人、地域と地域との交流促進や、地域の一体感と活力の醸成、地域社会の再生などに寄与するもの」と記され、スポーツの持つ多面的な価値が規定されています。

(3) 県民カビジョンでの取組

本県においても、こうした動きに対応して「みえ県民カビジョン」において、スポーツの推進を〈政策〉として位置づけ、スポーツを通じた人と人、地域と地域との絆づくりや、一体感の醸成や地域づくりにつなげる取組を進めることとしています。

また、平成 30 年の全国高等学校総合体育大会や、平成 33 年の国民体育大会ならびに全国障害者スポーツ大会に加え、平成 32 年には東京オリンピック・パラリンピックの開催が決定しました。これらの大きなスポーツイベントが続く 4 ヶ年のインパクトを大きく引き出すチャンスが訪れることになります。

2 条例制定の必要性

そのためには、これまでの県民カビジョンの取組に加え、政策としてのスポーツの推進の効果、スポーツの持つ多面的な価値の顕在化を促す取組を県民全体に幅広く及ぼし、また、県民全体の自主的、主体的なアクションにつなげていくための仕組みづくりが必要です。

こうしたことから、スポーツの持つ力を県民全体で共有し、スポーツ推進の理念や取組方針を明らかにすることを目的に、新たな条例の制定に取り組んでいきます。

3 今後の取組

(1) 条例の制定

「三重県スポーツ推進条例（仮称）」の制定に向け、スポーツの持つ多面的

な価値を条例に反映できるよう、他部局との連携を図るとともに、三重県スポーツ推進審議会をはじめ、関係団体等と協議しながら取り組みます。

(2) 新たな推進計画の策定

現在の「第7次三重県スポーツ振興計画」が平成26年度末で終了となることから、新たな推進計画の策定に向けて取り組みます。

(3) 主なスケジュール案

○「三重県スポーツ推進条例（仮称）」については、平成26年三重県議会定例会11月会議へ提案できるよう、取り組みます。

○平成25年11月15日第2回スポーツ推進審議会を開催しました。

①「三重県スポーツ推進条例（仮称）」のあり方について、知事より諮問

②条例制定等に向けて、当審議会の審議の深化・充実を図るため、三重県スポーツ推進審議会の中に「作業部会」を設置

○今後の主な日程案については、次のとおりです。

平成26年2月 総務地域連携常任委員会において説明（条例素案）

6月 " "（条例中間案）

6月～7月 条例案のパブリックコメント

10月 総務地域連携常任委員会において説明（条例最終案・新たな推進計画素案）

11月 平成26年三重県議会定例会において提案（条例案）

12月 総務地域連携常任委員会において説明（新たな推進計画中間案）

平成27年1月 新たな推進計画案のパブリックコメント

2月 平成27年三重県議会定例会において報告（新たな推進計画）

他県の状況を参考にしたスポーツを推進するための条例の構成内容【案】について

めざす姿：県民力を結集したスポーツによる元気なみえづくり

- 方針：①スポーツを通じた地域づくり
 ②スポーツを通じた人づくり
 ③県民の幅広い参画

(例)第2の吉田沙保里育成プラン



夢！感動！
 一体感！

○構成内容(案)

第1章 総則

目的	県民力を結集したスポーツによる元気なみえづくり ・幅広い県民の理解 ・県民力の結集 ・幅広い意見の反映(多様な主体、多面的な視点) など
基本理念	【価値】(例)心身の健康保持・増進、青少年の健全育成 県民への夢・感動、世代間・地域間の交流の促進 など 【方針】スポーツを通じた地域づくり スポーツを通じた人づくり 県民の幅広い参画

第2章 各主体の役割

各主体の役割	【県の責務】(例)取組の推進、計画の策定 など (三重県スポーツ推進計画) 【市町の役割】【スポーツ団体の役割】 【県民への期待】(例)スポーツへの幅広い参画 など
---------------	---

第3章 基本施策

基本施策	(例)スポーツへの参画機会の確保、生涯スポーツの推進 施設の整備、競技スポーツの推進、顕彰 学校体育の充実、障がい者スポーツの推進 心身の健康保持・増進への貢献、青少年の健全育成への貢献 スポーツを通じた地域の活性化 など
-------------	---

第4章 推進体制

県民運動の促進	(例)スポーツ立県宣言、スポーツ推進月間の制定 など
幅広い意見の聴取	(例)県民会議の開催 など
財源の確保	(例)県民の幅広い参画を通じた財源確保の仕組み など

他県のスポーツ推進条例の構成

(別紙 2)

都道府県名	条例名	施行日時	(前文)	目的	定義	基本理念	【県】 責務	【スポーツ団体】 責務・役割	【市町村】 連携・役割・要請・支援	【市民】 役割	【事業者】 役割	県民参加の促進	基本計画・推進計画	多様な活動の促進	生涯スポーツの推進	子ども・体力向上健全発達	学校体育の充実	青少年スポーツの推進	学校スポーツの推進	競技水準の向上	拠点施設の設置 施設の整備・有効活用	健康の保持・増進	障害者スポーツの推進	指導者の養成	人材の育成	スポーツ関係団体・企業 によるスポーツ活動の促進	顕彰	地域づくり	地域づくり	活性化 地域づくり	県民会議	スポーツ推進月間	県民運動の促進	委任	財政上の措置	
群馬県	群馬県 スポーツ振興条例	平成25年4月1日	○	○	○	○	○	○					○								○					○									○	
埼玉県	埼玉県 スポーツ振興のまち づくり条例	平成19年4月1日		○			○							○	○	○	○	○	○	○															○	
千葉県	千葉県 体育・スポーツ振興 条例	平成22年12月24日		○	○		○	○				○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○													○
岐阜県	岐阜県清流の国 スポーツ推進条例	平成25年3月26日	○	○		○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				○	○	○	○	○	○	○	○		○
岡山県	岡山県 スポーツ推進条例	平成24年7月3日		○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				○	○								○
山口県	山口県 スポーツ推進条例	平成24年4月1日	○	○		○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○		○	○						○	○	○
鹿児島県	スポーツ振興 かごしま県民条例	平成22年6月25日	○	○		○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○		○								○

条例制定等に向けた日程(案)

(別紙 3)

	11月	12月	H26/1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	H27/1月	2月	3月	
三重県 スポーツ推進 条例(仮称)	条例概要・素案の作成 【庁内調整含む】				関係団体等 への説明			パブリック コメント		関係団体等 への説明				議会 定例会 に 提案				
三重県 スポーツ推進 基本計画(仮 称)	次期計画概要の作成					次期計画素案・中間案の作成								関係 団体等 への 説明	パブ リック コメ ント	関係 団体等 への 説明	議会へ 報告	
県議会	条例 概要 説明		条例 素案 説明			条 例 中間案 説明			条 例 最終案 ・次期計画 素案 説明			・条例案 提案 ・次期計画 中間案 説明		次期計画 最終案 説明				
審議会	11/15 第2回 審議会 (条例 概要)	第1回 作業 部会		第3回 審議会 (条例 素案 検討)		第1回 審議会 (条例 中間案 検討)	第1回 作業 部会	第2回 作業 部会		第2回 審議会 (条例 最終案 ・次期計 画 素案 検討)	第3 回 作業 部会	第3回 審議会 (条例 最終案 ・次期計 画 中間案 検討)		第4回 作業 部会		第4回 審議会 次期計画 最終案		
庁内調整	(条例)庁内調整① 教育委員会・健康福祉部・観光局など 内容の検討				(条例)庁内調整② 総務部含め(法令審査)													
	(次期計画)庁内調整① 教育委員会・健康福祉部・観光局など 内容の検討													(次期計画)庁内調整② 内容の最終確認				
関係団体(市 町、競技団体 含む)調整					(条例) 関係団体等 への説明 【1回目】			(条例) 関係団体等 への説明 【2回目】					(次期計画) 関係団体 等への 説明 【1回目】		(次期計画) 関係団体 等への 説明 【2回目】			

三重県スポーツ推進審議会委員

(第2期：平成25年11月25日～平成27年11月24日)

(五十音順)

	委員名	所属・職名等
1	いしはら まさたか 石原 正敬	三重県町村会 (菰野町長)
2	いとう ふじこ 伊藤 ふじ子	三重県市町教育長会 (亀山市教育委員会 教育長)
3	いわたに としゆみ 岩谷 敏史	三重県中学校体育連盟 会長 (桑名市立陽和中学校長)
4	うつぎ たえこ 宇津木 妙子	NPO法人 ソフトボール・ドリーム 理事長
5	うない りゆういち 垂髪 隆一	三重県高等学校体育連盟 副会長 (三重高等学校長)
6	かとう こう 加藤 公	三重大学スポーツ整形外科学講座 スポーツドクター
7	すぎた まさあき 杉田 正明	三重大学教育学部 教授
8	たに あけみ 谷 明美	三重県障害者スポーツ指導者協議会 理事
9	たむら みつぐ 田村 貢	(株)アルビレックス新潟 代表取締役社長
10	つばた かよこ 津幡 佳代子	(一社)三重県レクリエーション協会 事務局長
11	つるはら きよし 鶴原 清志	三重大学教育学部 教授 《会 長》
12	なかち てるひろ 中地 栄博	三重県PTA連合会 副会長
13	ば ば ひろし 馬場 宏	三重県スポーツ推進委員協議会 会長
14	ひおき やすし 日沖 靖	三重県市長会 (いなべ市長)
15	ますだ あけみ 増田 明美	スポーツジャーナリスト
16	ませ たかひこ 馬瀬 隆彦	三重県テニス協会 副会長 《副会長》
17	みやま やすこ 宮嶋 泰子	(株)テレビ朝日編成制作局 アナウンス部兼編成部 高度専門職 エグゼクティブアナウンサー
18	みやもと ともみ 宮本 ともみ	女子サッカー選手 元 伊賀FC くノ一所属
19	やすい みどり 安井 みどり	(公財)三重県体育協会 理事
20	よした けんいち 吉田 賢一	三重県小学校体育研究会 会長 (鈴鹿市立愛宕小学校長)

(参考資料2)

三重県スポーツ推進審議会
条例制定等に向けた作業部会 委員名簿

(五十音順)

	役職	部 会 員 名	所属団体等	区 分
1	部会委員	すぎた まさあき 杉田 正明	学識経験者 (三重大学教育学部 教授)	審議会委員
2	部会委員	ふくだ るり子 福田 るり子	三重県フェンシング協会 理事長	外部委員
3	部会委員	ませ たかひこ 馬瀬 隆彦	三重県テニス協会 副会長	審議会委員
4	部会委員	まの りゆうき 間野 義之	学識経験者 (早稲田大学スポーツ科学学術院 教授)	外部委員
5	部会委員	みやじま やすこ 宮嶋 泰子	(株)テレビ朝日編成制作局 アナウンス部兼編成部 高度専門職 エグゼクティブアナウンサー	審議会委員
6	部会委員	やまぐち やすお 山口 泰雄	学識経験者 (神戸大学発達科学部 教授)	外部委員

4 競技力向上の取組について

1 現状

(1) 第68回国民体育大会(スポーツ祭東京2013)の結果について

第68回国民体育大会における男女総合得点は745.5点で天皇杯順位が41位、女子総合得点は383.5点で皇后杯順位が38位という結果となり、天皇杯順位は2年続けて下がる結果となりました。

また、種別ごとの獲得得点においては、成年種別が149点で昨年より74点下回り、少年種別が山岳競技女子団体での優勝等により206点で昨年より26.5点上回った結果となりました。

一方、レスリング競技においては昭和50年国体以来3度目の競技別優勝を果たし、陸上競技、テニス競技、ウエイトリフティング競技、馬術競技においては例年通りの安定した成績を残しました。

特に、山岳競技においては少年女子団体リード種目で優勝・ボルダリング種目で準優勝を果たすなど、新たな競技における活躍もみられました。

2 課題

本年の国体結果から、次のような課題がみられました。

(1) 優秀な指導者の不足

毎年、入賞を果たしている競技団体においては、国内の大会で活躍できる指導者が養成・確保されているものの、本県の成年種別、少年種別ともに、国内の大会で活躍できる指導者が不足しており、安定した競技力の確保がされていない。

(2) 成年チーム数の不足

本県の成年種別においては、活躍が期待できる成年チーム数が少なく成年選手の活動の機会が十分確保されていない。

(3) ジュニア選手、少年選手の育成・強化

ジュニア選手(小・中学生)の発掘及び少年選手(高校生)の育成・強化の取組は行っているものの、中長期的な成果に結びつけるため、ジュニア選手の発掘・育成・強化の取組の充実とジュニア選手の意識醸成が必要である。

3 今後の方針

(1) 指導者の養成・確保

各競技団体へ国内トップレベルの指導者を特別コーチ等として招へいするなど、各競技団体の指導体制の充実・強化を図ります。

(2) 成年チームの育成・強化

大学運動部、企業・クラブチームの合宿や遠征等の強化活動の支援を進

めるとともに、新たなチームの結成に向けた取組を進めることで、成年チームの充実・強化を図ります。

(3) ジュニア選手・少年選手の発掘・育成・強化

ジュニア選手（小・中学生）の発掘・育成の取組を拡充するとともに、将来有望なジュニア選手を指定し、選手の育成・強化と意識醸成を図るなど、ジュニア選手の競技力向上のための取組を推進していきたいと考えています。

また、高等学校運動部の強化指定を拡充するとともに、新たに「中学校運動部強化指定」等の取組を進めていきたいと考えています。

(4) 「三重県競技力向上対策本部」専門委員会の設置

これらの取組を推進するため、三重県競技力向上対策本部に、次のような専門委員会を設置し、本県の競技力の向上を図ります。

- ① 成年選手強化専門委員会（平成 25 年 11 月 19 日開催）
 - ・成年選手の育成・強化に関する内容
 - ・成年チームの育成及び新たなチーム結成に向けた取組に関する内容
 - ・成年種別における指導者の養成・確保に関する内容 他
- ② ジュニア・少年選手強化専門委員会（平成 25 年 12 月 13 日開催予定）
 - ・ジュニア選手の発掘・育成に関する内容
 - ・高等学校運動部強化指定等、少年選手の育成・強化に関する内容
 - ・少年種別における指導者の養成・確保に関する内容 他
- ③ 企業等連絡調整専門委員会（平成 25 年 12 月 16 日開催予定）
 - ・選手や指導者の雇用先の確保等に関する内容 他

(5) 新たな財源の確保

競技力向上対策を進める中でも、特に世界で活躍する吉田沙保里選手のような、未来の競技スポーツを支える選手育成を行うためには、ジュニア選手の強化対策が重要であり、これまでのジュニア選手の強化対策の取組に加え、新たな取組が急務であります。

こうした新たな取組の財源については、税による財源に頼るだけでなく、広く県民の皆さんから寄附金等を募ることで確保することとします。

受け入れた寄附金等は「三重県体育スポーツ振興基金」で管理することとし、その管理方法については、今後検討を進めていきます。

【新たなジュニア選手の強化対策事業例（案）】

- ・選手の科学的管理（メディカルトレーニング、メンタルトレーニング）
- ・海外遠征費用等の補助
- ・優秀成績者への表彰（激励金の付与） など

第68回国民体育大会総合成績について

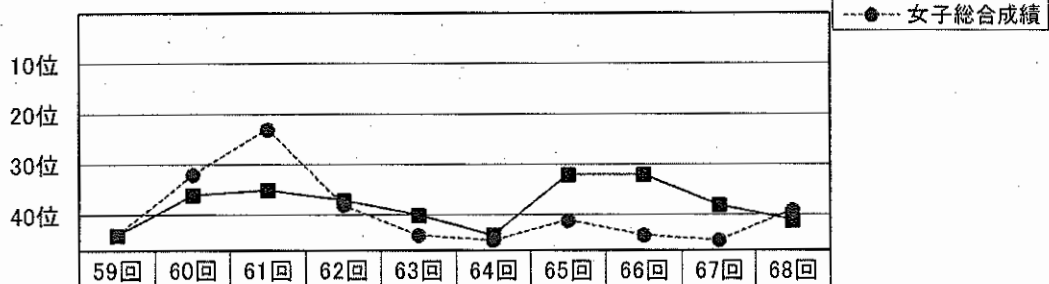
男女総合成績競技別一覧

競技順位	競技名	競技得点	参加点	合計
1	レスリング	62.0	10.0	72.0
7	山岳	45.0	10.0	55.0
7	テニス	24.0	10.0	34.0
10	ゴルフ	19.5	10.0	29.5
11	体操	15.0	10.0	25.0
12	陸上競技	55.5	10.0	65.5
14	柔道	12.5	10.0	22.5
16	ソフトテニス	20.0	10.0	30.0
16	ハンドボール	12.5	10.0	22.5
16	自転車	12.0	10.0	22.0
20	馬術	12.0	10.0	22.0
20	ボウリング	6.0	10.0	16.0
22	フェンシング	3.0	10.0	13.0
23	ウエトリテイング	23.0	10.0	33.0
24	セーリング	5.0	10.0	15.0
25	水泳	21.0	10.0	31.0
29	ライフル射撃	7.0	10.0	17.0
小計	17競技	355.0	170.0	525.0
	他 22競技		220.0	220.0
41位	39競技	355.0	0.0	745.0

女子総合成績競技別一覧

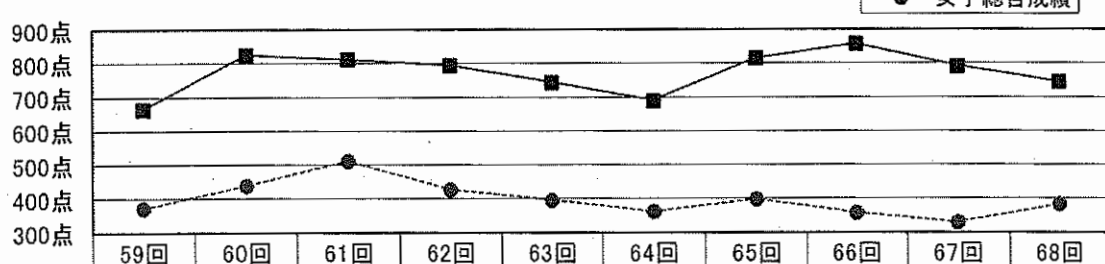
競技順位	競技名	競技得点	参加点	合計
3	山岳	45.0	10.0	55.0
7	ソフトテニス	20.0	10.0	30.0
13	陸上競技	27.5	10.0	37.5
13	フェンシング	3.0	10.0	13.0
15	ボウリング	3.0	10.0	13.0
17	セーリング	5.0	10.0	15.0
小計	6競技	103.5	60.0	163.5
	他 22競技		220.0	220.0
39位	28競技	103.5	280.0	383.5

国民体育大会過去10年間の成績(順位)推移



男女総合成績	44位	36位	35位	37位	40位	44位	32位	32位	38位	41位
女子総合成績	44位	32位	23位	38位	44位	45位	41位	44位	45位	39位

国民体育大会過去10年間の成績(得点)推移



男女総合成績	664.5点	825.5点	813.0点	795.0点	744.5点	691.0点	816.5点	858.5点	792.5点	745.0点
女子総合成績	371.5点	439.0点	512.0点	427.5点	396.0点	363.0点	398.5点	359.0点	330.0点	383.5点

団体種目

順位	成 年 の 部		得点	少 年 の 部		得点
1				山 括 (リード)	少年女子 (全三重)	24
2				山 括 (ボルダリング)	少年女子 (全三重)	21
4	体 操	成年男子 (相好体操クラブ)	15			
5	テ ニ ス	成年男子 (全三重)	12	水 泳 (水 球)	少年男子 (全三重)	20
	ハ ン ド ボ ー ル	成年男子 (全三重)	12.5	テ ニ ス	少年男子 (四日市工業高校)	12
	柔 道	成年男子 (全三重)	12.5	ソ フ ト テ ニ ス	少年女子 (三重高校)	20
	ビ ー チ バ レ ー	成年男子 (全三重)	0	ゴ ル フ	少年男子 (全三重)	12
6	ゴ ル フ	成年男子 (全三重)	7.5			
8	フ ェ ン シ ン グ (フ ル ー レ)	成年女子 (全三重)	3	ボ ウ リ ン グ	少年男子 (全三重)	3

個人種目

順位	競 技 名	種 別	種 目	氏 名	所 属 <ふるさと登録>	得点
1	陸 上 競 技	成年男子	走高跳	衛藤 昂	筑波大学 《鈴鹿市立白子中学校》	8
	陸 上 競 技	成年女子	5000m	尾西 美咲	積水化学工業㈱ 《宇治山田商業高校》	8
	陸 上 競 技	少年女子A	ハンマー投	油谷 文月	相可高校	8
	レ ス リ ン グ	成年男子	71-スタイ#55kg級	高橋 侑希	山梨学院大学 《いなべ総合学園高校》	8
	レ ス リ ン グ	少年男子	71-スタイ#50kg級	成園 大志	いなべ総合学園高校	8
	レ ス リ ン グ	少年男子	71-スタイ#60kg級	藤波 勇飛	いなべ総合学園高校	8
	自 転 車	成年男子	4km速度競走	高士 拓也	中央大学 《朝明高校》	8
2	レ ス リ ン グ	成年男子	グレコ-マンスタイ#74kg級	中村 隆春	日本体育大学 《鳥羽高校》	7
	レ ス リ ン グ	少年男子	グレコ-マンスタイ#120kg級	山口 太希	いなべ総合学園高校	7
	ウエイトリフティング	少年男子	89kg級ジャーク	伊丹 玲於奈	四日市工業高校	7
	馬 術	成年男子	団体総合馬術	中村 勇	北勢ライディングクラブ	7
	ライフル射撃	成年男子	10mP60M	望月 貴裕	中部電力㈱ 《久居高校》	7
3	陸 上 競 技	少年男子A	砲丸投	村上 輝	南伊勢高校学生会舎	6
	レ ス リ ン グ	成年男子	71-スタイ#60kg級	川瀬 克祥	日本体育大学 《いなべ総合学園高校》	5.5
	レ ス リ ン グ	少年男子	71-スタイ#55kg級	藤田 雄大	いなべ総合学園高校	5.5
	レ ス リ ン グ	少年男子	71-スタイ#66kg級	松尾 侑亮	いなべ総合学園高校	5.5
	ウエイトリフティング	少年男子	62kg級ジャーク	伊藤 周成	四日市工業高校	6
	ウエイトリフティング	少年男子	89kg級スナッチ	伊丹 玲於奈	四日市工業高校	6
4	陸 上 競 技	成年女子	100m	世古 和	筑波大学 《宇治山田商業高校》	5
	陸 上 競 技	少年男子A	走幅跳	松岡 修平	高田高校	5
	セ ー リ ン グ	成年女子	シ-ネッパ-級スモールガ	河原 由佳	共栄火災海上保険㈱	5
	馬 術	少年男子	馬場馬術	亀井 大志	高田高校	5
5	陸 上 競 技	成年男子	3000m障害物	梅枝 裕吉	NTN㈱	4
	陸 上 競 技	少年女子共通	棒高跳	中林 麻奈	相可高校	3.5
	レ ス リ ン グ	成年男子	グレコ-マンスタイ#96kg級	森 保弘	鳥羽高校	2.5
	レ ス リ ン グ	成年男子	グレコ-マンスタイ#120kg級	河野 隆太	鈴鹿国際大学	2.5
	レ ス リ ン グ	少年男子	グレコ-マンスタイ#96kg級	樹田 拓矢	朝明高校	2.5
6	陸 上 競 技	成年男子	走幅跳	林 風汰	早稲田大学 《宇治山田商業高校》	3
	陸 上 競 技	少年女子共通	やり投	坂倉 杏奈	四日市四郷高校	3
	自 転 車	少年男子	スプリント	下岡 将也	朝明高校	3
7	陸 上 競 技	成年男子	400m	近藤 崇裕	筑波大学 《四日市高校》	2
	ウエイトリフティング	少年男子	53kg級ジャーク	樋口 拓弥	龜山高校	2
	ウエイトリフティング	少年男子	62kg級スナッチ	伊藤 周成	四日市工業高校	2
	ボ ウ リ ン グ	成年女子	個人戦	濱田 真由美	シャ-ブ ㈱	2
8	水 泳 (競 泳)	成年男子	100m平泳ぎ	金谷 優気	中京大学 《四日市西高校》	1
	自 転 車	成年男子	1kmタイムトライアル	廣田 敦士	朝日大学 《曉高校》	1
	ボ ウ リ ン グ	少年女子	個人戦	谷原 美来	久居高校	1

国民体育大会における獲得得点の比較

回	第65回	第66回	第67回	第68回	
天皇杯順位	32位	32位	38位	41位	
団体	成年男子	155.5	157.0	140.0	59.5
	成年女子	40.0	0.0	15.0	3.0
	少年男子	36.0	84.0	45.0	47.0
	少年女子	54.0	50.5	25.0	65.0
	小計	285.5	291.5	225.0	174.5
個人	成年男子	50.0	41.0	58.0	66.5
	成年女子	12.5	14.0	10.0	20.0
	少年男子	56.5	107.5	109.5	78.5
	少年女子	22.0	14.5	0.0	15.5
	小計	141.0	177.0	177.5	180.5
計（参加点除く）	426.5	468.5	402.5	355.0	
参加点含む総計	816.5	858.5	792.5	745.0	

競技別獲得得点一覧表(第58回～第68回)

資料④

競技名	第58回 (静岡)	第59回 (埼玉)	第60回 (岡山)	第61回 (兵庫)	第62回 (秋田)	第63回 (大分)	第64回 (新潟)	第65回 (千葉)	第66回 (山口)	第67回 (岐阜)	第68回 (東京)	合計獲得 得点	平均 獲得得点	
	獲得点	獲得点	獲得点	獲得点	獲得点	獲得点	獲得点	獲得点	獲得点	獲得点	獲得点			
1 スケート						6.0						6.0	0.5	
2 アイスホッケー												0.0	0.0	
3 スキー								4.0		1.0		5.0	0.5	
4 水泳(競泳)	5.0		13.0	10.0		12.0	16.0	14.0	9.0	16.0	1.0	96.0	8.7	
5 水泳(水球)	17.5				20.0	15.0			20.0		20.0	92.5	8.4	
6 ボート			8.0	12.0								20.0	1.8	
7 セーリング	2.0	6.0	8.0	4.0	21.0	1.0	21.0	11.0			5.0	79.0	7.2	
8 カヌー		7.0	7.0		3.0	5.0						22.0	2.0	
9 ボウリング	8.0	13.0	3.0	7.0		12.0	28.0				6.0	77.0	7.0	
10 陸上競技	62.0	58.0	42.5	49.0	42.0	51.5	64.5	46.0	43.0	45.0	55.5	559.0	50.8	
11 サッカー	56.0		20.0	64.0	56.0	40.0		40.0				276.0	25.1	
12 テニス	12.0	18.0		21.0	24.0	45.0		48.0	45.0	57.0	24.0	294.0	26.7	
13 ホッケー												0.0	0.0	
14 ボクシング					2.5					18.5		21.0	1.9	
15 バレーボール		17.5		17.5								35.0	3.2	
16 体操							18.0	15.0	15.0	12.0	15.0	75.0	6.8	
17 バスケットボール			55.0	40.0								95.0	8.6	
18 レスリング	13.0	19.0	13.0	18.0	38.5	24.0	50.5	29.5	42.5	23.0	62.0	333.0	30.3	
19 ウェイトリフティング	27.0	34.0	14.0	30.0	44.0	24.0	14.0	11.0	29.0	36.0	23.0	286.0	26.0	
20 ハンドボール	40.0	62.5	62.5	25.0	25.0	12.5			25.0		12.5	265.0	24.1	
21 自転車競技	26.0	14.0	1.0	25.0	22.0		11.0	30.0	58.0	33.0	12.0	232.0	21.1	
22 ソフトテニス	40.0	5.0	75.0	25.0	40.0		30.0	60.0	45.0	35.0	20.0	375.0	34.1	
23 卓球		7.5	7.5									15.0	1.4	
24 軟式野球									40.0			40.0	3.6	
25 相撲									7.5			7.5	0.7	
26 馬術	10.0	9.0	10.0	5.0	7.0	18.0	5.0	11.0	13.0	8.0	12.0	108.0	9.8	
27 フェンシング								21.0	30.0	15.0	3.0	69.0	6.3	
28 柔道			12.5									12.5	2.3	
29 ソフトボール				56.0								56.0	5.1	
30 バドミントン								7.5				7.5	0.7	
31 弓道			12.0		54.0		6.0	12.0	9.0			93.0	8.5	
32 ライフル射撃	1.0	1.0					7.0		4.0	9.0	7.0	29.0	2.6	
33 剣道			7.5			7.5						15.0	1.4	
34 ラグビーフットボール			64.0	12.0		64.0		64.0	28.0	64.0		296.0	26.9	
35 山岳									3.0	3.0	45.0	51.0	4.6	
36 アーチエリー												0.0	0.0	
37 空手道				2.5		8.0	6.0	2.5	2.5			21.5	2.0	
38 銃剣道	9.0						24.0			6.0		39.0	3.5	
39 クレー射撃												0.0	0.0	
40 なぎなた		3.0			6.0	9.0						18.0	1.6	
41 ゴルフ										21.0	19.5	40.5	3.7	
合計	総得点	328.5	274.5	435.5	423.0	405.0	354.5	301.0	426.5	468.5	402.5	355.0	4174.5	379.5
	順位	41位	44位	36位	35位	37位	40位	44位	32位	32位	38位	41位		38位

5 三重県営陸上競技場の改修計画について

1 これまでの検討経緯

(1) 三重県スポーツ施設整備計画の策定

県では、昨年度に「三重県スポーツ施設整備計画」(以下「計画」という。)を策定し、今後の県営スポーツ施設の整備や市町スポーツ施設への関与のあり方等について、県としての考え方を整理してきました。

この計画の中で、県営陸上競技場については、既存施設を大規模改修することにより、県内唯一の第1種公認陸上競技場としての機能を発揮できるよう、平成29年度の完成を目指すこととしました。

なお、当該計画の策定にあたっては、スポーツ推進審議会や県議会常任委員会に原案を諮り、ご意見等をいただきながら策定してきたところです。

(2) 計画で位置づけた要改修項目

計画の中で整備を必要とした項目は、日本陸上競技連盟の定める第1種公認陸上競技場の施設基準の規定のうち、本競技場がそれを満たしていない部分となり、その主な概要は以下および別紙1のとおりです。

(主な概要)

施設・箇所	【基準】	【現状】
メインスタンド	7,000席、屋根付き	6,000席、屋根なし
グラウンドレベル	メインスタンドとの差異の解消(既設の場合は50cm以内とする)	メインスタンドとの差が70cm以上あり
照明設備	フィニッシュライン1500ルクス以上	設備なし
補助競技場	400メートル×6レーン(直走8レーン)	300メートル×6レーン
投てき練習場	主競技場の至近に設置	なし

2 メイン競技場改修の際の検討事項

上記基準への対応については、(1)既存施設の活用、(2)メインスタンドは改築し、両サイド・バックスタンドは既存施設を活かして改修、(3)全て改築、の三方法がありますが、(3)は負担が大きいことから、(1)、(2)について検討しました。

(1) 既存施設を活用した場合

- ①現状施設が建築基準法上の高さ制限(15m)まで達しており、客席増加分(1,000席)は南北両ゲートの上部に整備することとなるが、当該場所に各500席のスタンド設置は困難なこと。
- ②メインスタンドの屋根は、できる限り広範囲に客席を覆うよう求められているが、現行の屋根は貴賓室を覆う程度で、その屋根を支える支柱も、要求規模の屋根を支える耐力がなく、メインスタンドの後方に数か所、新たに別の支柱を設置して新しい屋根を架設することとなる。既存の支柱は構造物の一部となっており撤去が難しいため、古い支柱や屋根を残したままになり、いびつな外観となること。
- ③グラウンドレベルとの段差を緩和するために、メインスタンドの床面を20センチ程度以上底上げしなければならず、天井面が低くなり、利便性、居住性が低下すること。(フィールドは湿地帯のため、現行フィールドを削ることは不可能)
- ④経年劣化のため内部の壁や床の臭気が部屋に付着し、貴賓室等は換気しても状況改善しないこと、その他トイレ等給排水、衛生設備等水回り施設は老朽化が進み、近い将来、床や天井内での配管も含めて大規模な改修の可能性を否定できないこと。
- ⑤審判室が男女合わせて90㎡未満(更衣室除き)しかなく、県大会でも200人を超す審判が動員され、競技会役員等の業務等に不便をきたしていること。
- ⑥上記の点に加え、昭和43年以来45年が経過し、ほぼ耐用年数(RC構造物は50年)に達している中で、現行施設をそのまま生かしたとしても、早晚、大規模改修を余儀なくされ二重投資の恐れも否定できないこと、現時点では耐震基準を満たすものの、耐用年数経過後に南海トラフ巨大地震が発生した場合の安全性に懸念もあること。

(2) メインスタンド改築の場合

- ①7,000席の整備、屋根の整備に制約はない。
- ②グラウンドレベルとの段差解消も容易である。
- ③延べ床面積が約1.4倍(概略調査)と見込まれ、諸室の大きさや配置

等が自由に設計でき、ユニバーサルデザインにも十分配慮できる。

- ④今後の維持管理、ライフサイクルコストを極力圧縮する施設の設計ができる。

(3) 改修の方向性

このような点から、メインスタンドは建て替えにより整備したいと考えています。メインスタンド以外についても、施設基準等に対応するため以下のとおり整備したいと考えています。

①補助競技場について

現行の場所に400m周回のトラックを整備する広さがないため、メインスタンドの南西方向、県道に面した位置に新規整備します。

②照明設備について

新規に整備します。

③投てき練習場について

メインスタンドと補助競技場との間に新規整備します。

④大型映像装置について

現行電子掲示板の部品調達が不可能となっているため、不具合に対応できなくなっていることから、大規模改修を行います。

⑤サイドスタンドについて

既存施設の改修で対応し、通路のバリアフリー化等を行います。

⑥バックスタンドについて

既存施設の改修で対応し、雨漏り防水工事等を行います。

⑦その他駐車場等外構工事について

現行補助競技場の位置に駐車場を整備します。また周辺の外構を整備します。

※ 整備イメージは別紙2のとおり。

(4) 改修の費用について

改修費用の算定については、施工項目や整備規模等を確定し、基本設計にかけて、一定の経費積算を行う必要があります。

現時点では、整備手法が確定していないため、他府県の事例を参考にすると、既存施設を生かして整備した事例（和歌山県）と、メインスタンドを建て替え、サイド、バック両スタンドは既存施設で対応した事例（山口県）（スタンド以外の諸施設（照明施設、大型映像装置、補助競技場等）の整備はほぼ新規整備として同一条件で設定できる）でみると、前者では約50億円、後者では約90億円となっています。

3 整備スケジュールについて

	補助競技場	メイン競技場	駐車場、外構
平成26年度	<ul style="list-style-type: none"> ・実施設計、測量 ・工事積算 ・入札公告等 ・工事議案上程 	<ul style="list-style-type: none"> ・基本設計 ・実施設計 	
平成27年度	<ul style="list-style-type: none"> ・工事（10ヶ月） 	<ul style="list-style-type: none"> ・実施設計 ・計画通知 ・解体工事 ・建設工事積算 	<ul style="list-style-type: none"> ・実施設計
平成28年度		<ul style="list-style-type: none"> ・入札手続き ・工事議案上程 ・工事（13ヶ月） 	
平成29年度		<ul style="list-style-type: none"> ・工事 	<ul style="list-style-type: none"> ・工事
平成30年度	全国高等学校総合体育大会		

4 整備に向けての課題

(1) 工事発注をめぐる環境変化

東日本大震災復興工事や防災事業、民間需要の増などにより発注件数が増加していることで、資材単価、労務単価等が上昇しています。このため価格上昇分を見込まないと応札業者が出ず、発注ができない入札不調が全国的に頻発しています。

建設技能労働者の高齢化、減少などもあり、応札業者に対応余力がなく、今後、事業費が当初の想定を大きく上回ってくる可能性があります。

(2) 整備時期における要請

国体やインターハイも視野に入れ、陸上競技会を円滑に運営するために、運営主体の三重県陸上競技協会が、新しい施設や設備・機器等の取扱いに習熟し、競技場全体のオペレーションができる状況になっている必要があります。

このため、できればインターハイ開催の前に、同種大規模大会の運営を、新しい競技場で予行演習的に行い、準備に万全を期す必要があります。完成時期を平成29年度のできる限り早い時期に繰り上げていく必要があります。

(3) 関係団体等との調整

陸上競技場は、単に陸上競技の場だけでなく、サッカーなどの競技も開催可能で、第1種公認陸上競技場としての条件も満たしつつ、合理的な整備費用の範囲で、できる限り多くの競技に応えていくことも望まれます。

また、当競技場は都市公園の中に配置されており、地元の市民の皆さんが日常的に利用することなどから、公園管理者である地元自治体の意向や要望などへの配慮も必要です。

5 今後の対応

できる限り早期の完成を目指しつつも、コストの大幅な増加を招かないような整備・施工方法等について、今後他県や他施設の整備事例なども含めて幅広く検討することとし、工期の短縮と整備費の合理化に努めます。

加えて、全体事業費に配慮しながら、関係競技団体や自治体との協議を十分に行い、これら団体の意向にも配慮しながら調整を進めてまいります。

○陸上競技場に必要とされる整備の概要

項目	必要な整備の概要	判断要素
I スタンド	<ul style="list-style-type: none"> ●収容人員 15,000人以上 ●座席数 15,000席以上 (固定席) ●屋根の設置 メインスタンド屋根設置 ●グラウンドレベルの差異の解消 (現状70cm以上あり) 	<p>【1種公認条件】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観客収容数は1万5千人以上とし、メインスタンドは、7千人程度で屋根付き ・メインスタンド側の床のレベルはグラウンドレベルが望ましい。やむをえない場合は50cmまで下げることができる。
II 設備	<ul style="list-style-type: none"> ●エレベーターの設置 ●照明設備の新設 1,500ルクス以上 (4基設置) 	<ul style="list-style-type: none"> ・スタンドでの縦移動の円滑化、高齢者、障がい者などの移動補助として2基程度以上のエレベーターの設置が望ましい。また、エレベーターについては貴賓席との関連も考慮する必要がある。 <p>【1種公認条件】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夜間照明を必要とし、フィニッシュラインは1,500ルクス以上確保
III 補助競技場	<ul style="list-style-type: none"> ●トラックの移転・新設 400m×6レーン (直走路8レーン) 全天候舗装 ●インフィールド 天然芝 	<p>【1種公認条件】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助競技場は、第3種公認陸上競技場とする。 ・1周の距離が400mの全天候舗装で6レーン又はそれ以上とし、直走路は8レーンとする。
IV 投てき練習場	<ul style="list-style-type: none"> ●新規整備 主競技場の至近に整備 	<p>【1種公認条件】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・投てき練習場は主競技場の至近に設置する。

○県営総合競技場陸上競技場の現状と公認基準

項目	公認基準	陸上競技場現状	適合
1 周の距離	400m	400m	○
競走路	8 レーン又は 9 レーン	9 レーン	○
距離の公差	1/10,000	1/10,000	○
3000 m 障害物競走路	レーンの外側に設置	レーンの外側に設置	○
跳躍場	走幅跳、三段跳の助走路並びに砂場は、6 ヲ所以上設置、棒高跳の助走路並びにボックスは 6 ヲ所以上設置	走幅跳・三段跳 6 ヲ所 棒高跳 6 ヲ所	○
投てき場	砲丸投は、サークルを 2 ヲ所以上設置ハンマー投、円盤投のサークルは 2 ヲ所設置(兼用可)	砲丸投 2 ヲ所 ハンマー投・円盤投 2 ヲ所	○
グラウンドレベル	メインスタンド側の床のレベルはグラウンドレベルが望ましい。やむをえない場合は 50 cm まで下げることができる。	70 cm 以上の段差あり	×
高齢者・身障者席	車いす席を設置	あり	○
用器具庫	2 ヲ所以上とし、合計面積は 500 m ² 以上	7 箇所 500 m ² 以上	○
エレベーター	基準なし (バリアフリーの視点)	なし	—
夜間照明設備	1m 220 の高さで平均照度 1,000 ルクス程度フィニッシュラインは、1,500 ルクス以上	照明なし	×
電光掲示盤	設置が望ましい	あり	○
観客収容数	15,000 人以上 (芝生を含む) とし、メインスタンドは、7,000 人程度で屋根付き	24,000 人 メインスタンドは、6,000 人で屋根なし	×
雨天走路	メインスタンド又はバックスタンド側に必要	バックスタンド側にあり	○
補助競技場	第 3 種公認陸上競技場 1 周の距離が 400m の全天候舗装で 6 レーン以上直走路は原則 8 レーン	公認有 1 周 300m の全天候舗装で 6 レーン直走路 8 レーン	×
投てき練習場	主競技場の至近に設置	なし	×

※陸上競技ルールブック【(公財)日本陸上競技連盟】

県営総合競技場陸上競技場 改修事業概要

既存補助競技場撤去
駐車場整備

バックスタンド改修(防水工事、座席改修)

メイン競技場照明設備設置

大型映像装置改修

サイドスタンド改修
(通路バリアフリー化等)

投てき練習場設置

メイン競技場フィールド改修

サイドスタンド改修
(通路バリアフリー化等)

メインスタンド建替

補助競技場設置

駐車場・外構整備

三重県営総合競技場 改修計画図

